

## コロナと私たちの生活

### 宇都宮シニアアンサンブル

広報担当 平野靖章

全世界がコロナ禍に落ちて緊急事態だの蔓延防止だのと不由この上ない状態が続いておりましたがやっと全面解除となりちょっと安心？かなと思うこの頃です。

一言に自粛生活と言っても「人生いろいろ」ですね。私はこの楽団に入ってからまだ4年弱ですが入団当初から練習の後はいつも昼の会食に誘って頂き練習よりこの会食の方が楽しい位でした。これが一気に自粛、自粛、自粛・・・となり世の中が一変しましたね。練習は工夫して細々と続けていますが人前で演奏の機会が全くない状態（これが悲しい）です。

この辺で自粛疲れを跳ね飛ばしたい気分ですが世の中の立ち上がりが気になります。自粛疲れなら直ぐにでも何とかしたい、或いは出来ると思いきやどうも自粛慣れしてしまい何もしない、どこにも行かなくてもさして問題ではない

とすれば元の状態に戻るのにはかなり時間がかかりそうです。アクセルは踏めどもスピードが上がらない状態を脱するためにも感染の再拡大を起こさないために十分注意、工夫をして積極的に活動を再開したいと思います。

### アンサンブルポニー・かつしか

コロナ禍に翻弄されつつも

立身承子

2020年1月、武漢からの帰国者1名に始まって拡がり、一日の発生数ピークが4月第一波720人、その後8月1605人、翌年1月7956人、5月7234人、8月2万5995人、6波のピークは10万人越えとその度にいろいろな業種が制約を受けたコロナ。私たちの活動も大きな影響を受けてきました。

特にポニー30周年の節目となる第12回定演の中止はショックが大きかったです。第13回は本年4月23日と決定しています。

さて、コロナ禍での生活では、日常的に大きな不便や変わりはなく過ごせましたが、練習会場が使えなくなった期間は、張り合いがなく、足を運んでくれそうな人を近隣が遠い自宅に誘い、以前から家族で行っていたホームコンサートで練習を提案し、私の子供も入れて音出しを中断しないように試みました。

幸い会場は2〜3ヶ月後には自主参加期間を含めて使えるようにはなりましたが、昨年3月折角集まったメンバーの記念にミニコンサートを。通常は望んでも？出来ないソロ演奏を各自一曲は義務として、合奏は全員で4曲、総計10曲の演奏。なんと楽器は7種類。我が家のホームコンサートとしては久々の盛況でした。打ち上げを楽しむわけにはいかなかった事は残念。紆余曲折在りながら、現在はこの4月に向けて全員猛練習中、お近くの方には是非お出でいただきたいです。

### 流山シニアアンサンブル

副代表 大石 優

コロナ禍の中、昨年6月13日に「流山シニアアンサンブル」が新結成されました。

楽器の振り分けに多少の偏りがありますが順調に滑り出し、数度の練習に期待を寄せていたところ、今度は姿を変えたオミクロン株感染の拡がりとなり、総合練習は再三に渡り中止や延期等に余儀なくされました。

さて、本年5月に初舞台である演奏会に参加する予定で、自宅での一人練習のみとなり総合の音合わせ調整に不安を感じています。私の日課はアトリエでの油彩画制作です。

若き日から始めたバイオリンは、気分一新や小休憩時に手を触れて好きな曲を思う存分弾くことが今の私の気休めとなっています。時折、長年お付き合ひある同好の方々との交遊も楽しく、更に、この度の「流山シニアアンサンブル」の団員の方々と新たに知り合うこととなり、共通のテーマで交えることの喜びに幸せを感じる次第です。

### 取手シニアアンサンブル

渡邊佳子

コロナ禍での二年余り、皆様はどのような生活を送られていますか。ダイヤモンドプリンセス号で初感染者が出た時は他人事のように考えていて、こんなに長くそして重く影響が及ぼすとは夢にも思いませんでした。

アンサンブル活動もコロナ禍で活動休止を繰り返してきました。そんな中、昨年八月に第三回定期演奏会が実施できた事は大きな喜びでした。メンバー達と共に音楽を奏でる事は本当に楽しいし、共に達成感を得る事ができ、絆が深まったと思います。

今振り返ると、慰問演奏で初めはしぶしぶホールに集まって下さった老人の方が私達の演奏が始まるとパツと顔を上げ、目を輝かせて聴き入ってくれた姿が忘れられません。音楽は人の心と心をつなぐかけ橋だな、と実感しました。又、早く慰問演奏で老人の方々の笑顔に出会いたいと願っています。

私生活ではこのコロナ禍で出来ない事をぼやくより出来る事を探し少しずつ積み重ねていく事が大切かなと思っています。音源を使つての自己練習、家の中の断捨離、学生時代に戻りラジオ講座学習・・・等。これから様々な事に挑戦し、生き生きとした生活を送っていけると良いと思っています。

最後に、長い間コロナと戦って下さっている医療従事者の方々、生活を支えて下さる方々に感謝の気持ちを捧げます。

